

雑草ウォッチャー情報（2015.09.22～2016.01.31）

《質問》

- Q1) 雑草による住民の直接被害について
- Q2) 雑草の地域景観・美観への関わり
- Q3) 地域での雑草の目立った変化
- Q4) その他

《回答》

まとめ

- ・ 全部で 48 件の情報が寄せられました。
- ・ 報告された種数は 34 種（不明種含む）です。
- ・ 寄せられた情報は『発生の変化』、『繁茂』、『直接被害』、『その他』に分類しました。
- ・ 『発生の変化』に関する情報は 21 件、『繁茂』に関する情報は 16 件、『直接被害』に関する情報は 9 件、『その他』の情報は 2 件でした。
- ・ 『発生の変化』（全 21 件）のうち「発生範囲の拡大」、「目につく」等の増加に関する報告は 17 件で、このうち種名のはっきりしない 2 件を除くすべて（15 件）は帰化種の報告でした。
- ・ 『繁茂』（全 16 件）のうち 13 件が帰化種の情報でした。
- ・ 『直接被害』はトゲや葉による負傷の報告のほか、虫の発生、出火（穂）、花粉症の情報が寄せられました。
- ・ 複数の回答が寄せられた種はクズ、セイタカアワダチソウ、メリケンカルカヤ、オオキンケイギク、アレチウリ（以上 3 件）、セイバンモロコシ（以上 2 件）でした。
- ・ 一部、質問には回答も掲載しています。

報告された情報の種類と雑草の種類および内容

情報の種類	雑草の種類*	内容
発生の変化	<u>オオキンケイギク</u>	繁茂するようになった
	<u>メリケンカルカヤ(2件)</u>	芝生内に発生し範囲が拡大・最近目につく
	<u>オオブタクサ</u>	増えてきた
	<u>ヒガタアシ</u>	勢力を拡大
	<u>アレチウリ</u>	最近びっしりと増えてきた
	<u>ウサギアオイ</u>	目立つ
	<u>アレチハナガサ</u>	急激に増えている
	<u>アメリカフウロ</u>	最近どこでも見かける
	<u>メリケントキンソウ</u>	全国的に拡大が心配
	<u>セイバンモロコシ</u>	最近目につく
	<u>ブタナ</u>	繁茂するようになった
	<u>マツヨイグサ</u>	最近目につく
	<u>アメリカセンダングサ</u>	最近目につく
	<u>ヒナゲシ</u>	最近目につく
	<u>タチスズメノヒエ</u>	発生が年々、目立っている
	ユリ科雑草(ニラ?)	しばしば発生を目撃するようになった
	不明(茎に鋭いトゲ)	4~5年前から発生
<u>セイタカアワダチソウ(2件)</u>	少なくなっている気がする・11年の変遷について	
<u>スズメノカタビラ</u>	管理している寒地型西洋芝園での発生変化について	
モロコシ?	例年の刈り倒しが無かった後に出現・繁茂	
繁茂	<u>アレチウリ</u>	のり面を覆っている
	クズ	不衛生な印象を与える
	<u>セイタカアワダチソウ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>メリケンカルカヤ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>マルバルコウソウ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>ムラサキツユクサ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>オオキンケイギク(2件)</u>	不衛生な印象を与える・群落がある
	<u>セイバンモロコシ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>ハルシヤギク</u>	不衛生な印象を与える
	<u>シナダレスズメガヤ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>タカサゴユリ</u>	不衛生な印象を与える
	<u>マツバウンラン</u>	不衛生な印象を与える
	<u>ナギナタガヤ</u>	不衛生な印象を与える
ヨシ類	見通しが悪く危険	
不明(イネ科・つる性など)	植え込みから歩道を覆う	
直接被害	<u>アレチウリ</u>	実に生えているトゲが刺さった
	カラスウリ	小さいトゲで擦れたり、刺さったりした
	ホソバイラクサ	毒のあるトゲに刺された
	<u>ワルナスビ</u>	トゲが刺さりそうになった
	ススキ	草で手のひらに切り傷を負った
	クズ(2件)	マルカメムシの発生
	<u>ネズミムギ(イヌムギ?)</u>	花粉症
	ガマ	穂が風で飛び、集まった個所で出火
その他	太陽光パネル設置に伴う土地・景観の変化 三河港付近の雑草について	

* 帰化種

個別情報

<発生の変化>

- こちらは、京都府木津川市木津の河原周辺に住まいしている者です。

春には、**大さくけいぎくとぶたな**が繁茂するようになりました。木津川の土手には、釣鐘人参が結構咲いていましたが、この秋には、1株しか見られませんでした。ワレモコウも一定エリアで見かけることができます。鬼のやがらを見つけた時は嬉しかったのですが治水工事で削られて、消えていました。残念でした。

裕下佳子さん（京都府木津川市）

- メリケンカルカヤ**が発生

発生場所：居住しているマンションの敷地内緑地

発生地域・時期：マンション棟間の芝生内・春～秋

・築40年、40棟の分譲マンションで一つの町を成している。15年ほど前に棟間全ての敷地が芝生化される。その後毎年夏季には管理会社が芝生刈りを行い美しく維持されてきた。しかし、5年程前から「メリケンカルカヤ」が発生し次第に範囲が拡大しつつある。管理会社は5月頃から2か月おきに芝刈りを行っているが、夏場はその成長に追いつかず秋には穂ができるまでになってしまい、ますます広域化している。他の植木等の植栽は綺麗に管理されているので芝生内の雑草が殊更目立ってしまう。以前は芝生内に、スマレ、タチツボスマレ、ネジバナ、等沢山見られたが、今ではメリケンカルカヤに負けてしまっている。芝刈りの他に何か良い方法は無いものか？（写真1~3、2015/9/28撮影）

高比良麗子さん（大阪府枚方市）



回答；

メリケンカルカヤの初期生長は早くなく、初期の実生の段階での防除が最も重要なのですが生育初期にはシバと見分けにくく初期防除を逸しやすいようです（刈込を行っているときに特に）。侵入後の蔓延のスピードは早いらしいので、高比良さんのマンション敷地内に侵入したメリケンカルカヤもこの後も益々範囲を広げていくことが予想されます。

定着したものに対する刈込は有効だそうですので生育期に、より高頻度の刈込を行い地下の貯蔵養分を貯めさせない・減らしていくか（長期戦）、抜き取ることは難しいので芝刈り以外の方法ですと、や

はり薬剤を適切に使用することかと思えます（マンション敷地内ですと薬剤の使用はハードルが高いかもしれませんが）。（小西真衣）

- アレチウリ**：海沿いの河川敷に最近びっしりと増えてきました。数年前にはあまり目立ちませんでしたが、最近是最優先雑草になっています。まだ畑地までの侵入被害はありません。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- オオブタクサ**：道路と田圃の法面に最近かなり増えてきていますが、巾2m×長さ10mぐらいの群落で、まだ一部の発生ですが今後増えていくものと思われます。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- ヒガタアシ**：河川だけではなく最近三河湾の干潟にも勢力を広げているようです。昨年11月に私の村で「汐川干潟を保全する会」というのが発足し、私も早速会員になりました。5～6月頃除去作業のお手伝いをする予定ですので又現場のナマの状況を報告させていただきます。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- ウサギアオイ**：今年はキャベツが安いせいか、放任畑が多く相変わらず目立ちます。最近道路とキャベツ畑の境に発生が目立ちます。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- アレチハナガサ**：渥美半島では道路沿い、空地などに急激に増えています。クマツヅラ科はイワダレソウのように乾燥に強く繁殖力が旺盛で、過酷な条件でも生長する特性があるのでしょうか？

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- アメリカフウロ**：畑地や住宅地や墓地など最近どこでも見かける雑草です。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- トキンソウ**：在来のトキンソウはよく目につきますが、外来種のメリケントキンソウはまだ渥美半島には入っていません。隣の浜松市では多くの芝生公園で多発しており、大問題になっているようです。今後、全国的に芝生地への侵入が心配です。（以前、草と緑でK氏がメリケントキンソウの発生地域の拡大を心配していましたが同感です。）

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- 4～5年前から住宅周りや山際の畑地に茎に鋭いトゲがびっしりはえている、雑草のような、雑小灌木のような草が発生しています。山椒に似たような草で、大きくなると草丈は大人の背丈ほどにもなります。いろいろ調べてみましたが、わかりません。外来植物のようにも見えます。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

- そのほか目につく雑草～ジョンソングラス、メリケンカルカヤ、マツヨイグサ、アメリカセンダングサ、ヒナゲシ

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

●耕作放棄地のセイタカアワダチソウの11年の変遷（写真4～6、2015/12/14撮影）

11年前に引っ越してきましたが近くに耕作放棄地「約2反」があり草丈約2m位のセイタカアワダチソウが一面に繁茂していました。その後5年前あたりから草丈が1m位に低くなりました。今はその中に多くのエノコログサが生えていました。草丈150cm位です。近所の人に聞いたところ放棄地になって20～30年経つようです、管理は年2回刈り払い機で刈り倒すだけのようです。

矢吹日出旗さん（徳島県吉野川市）



●かつて花粉に悩まされていたセイタカアワダチソウが少なくなっているような気がする。

発生場所：雑草が繁茂している場所全般

池村淳さん（東海3県・長野南部）

●タチスズメノヒエ：水田畦畔近辺、畑地近辺、特に道路面に近い場所での発生が年々、目立っています。

三浦豊（静岡県磐田市）

●管理している寒地型西洋芝園のスズメノカタビラの発生変化（写真7～9、2015/12/14撮影）

毎年10月の下旬頃から3月頃まで発生します、発生するとすぐに穂をつけます。そのために早く抜き取る必要があります。昨年の冬は特に発生がひどく12巡にわたり抜き取り作業を行いました。しかしこの冬はほとんど発生が無く裸地に少し生えていたので1巡だけ抜き取りました。不思議なことです。

矢吹日出旗さん（徳島県吉野川市）



●本年夏より現在まで、私の住む茨城県南部では路肩や道路中央分離帯でユリ科雑草（ニラ？と考えています）をしばしば目撃しました。これまではあまり気づかなかったので、他の地域ではどうなのか興味を持っています。

ニラの発生場所は道路の路肩、中央分離帯植込みの中などでした。

植込みの中でもニラ？は草高が大きくないので被陰等はしないし、景観上も大きな問題には思えず、重大な防除の対象草種にはならないと思いました。その一方であちこちで見かけるので、分布が拡大しているように感じて、私は注目しています。

緑地としての雑草としては問題にはなりにくいかもしれませんが、刈取りに強い、分布拡大が旺盛、非選択性除草剤に対する感受性が低いのではないかと、このような特徴があり、ほかにも見られた方

はいないか興味があります。(写真 10~16)

角龍市朗さん (茨城県南部)



写真 10・11：つくば市路傍。目地から発生したニラが群落を形成 (2015年10月17日)



写真 12・13：つくば市路傍植え枡。草刈りが行われた後、再生が見られる。(2015年10月17日)



写真14:つくば市内路傍。非選択性除草剤がかけられていることが推察されるが、ニラは残存。
車の停車位置付近は境界でそこより手前が非選択性除草剤をかけたと考えられる。



写真 15：別の角度から
(2015年10月7日)



写真 16：写真 14・15 とは違うつくば市路傍。同じように非選択性除草剤がかけられた路傍であるがやはりニラは残存。2か所で感受性が低いと推察される状況があった。(2015年10月17日)

●モロコシの部分的繁茂（写真 17～20、2015/12/14 撮影）

家の近くを江川（えがわ）と言う小さい川が流れています、その昔きれいな水流なので日本の名水 100 選に選ばれています。両側はほとんど住宅になっていますが田んぼがある部分、約70m が裸地になっています。雑草繁茂がひどく毎年夏に刈り倒していましたが、しかし今年はずいぶん刈り倒しが行われませんでした。するとそこにモロコシらしきものが草丈 2m 位で繁茂しています。初めて見る光景に驚いています。実は沢山着いていました、しかし今日撮影に行きましたら実はすべて落ちていました。

矢吹日出旗さん（徳島県吉野川市）



<繁茂>

●長野県飯田市～伊那市にかけてアレチウリがのり面を覆っている。場所によってはクズとのコラボも※写真参照効果的な防除方法があれば教えて下さい。（写真 21）

池村淳さん（長野県飯田市～伊那市）

回答；（実際に防除の経験はないので外部からの情報による）

- ✓アレチウリは一年生なので種子の生産を防ぐことが肝要
- ✓アレチウリは水が好きだが、水没には弱い
- ✓埋土種子があるので駆除には継続した対策が必要（埋土種子寿命は5年程度？）

以下は一面にはびこった場合

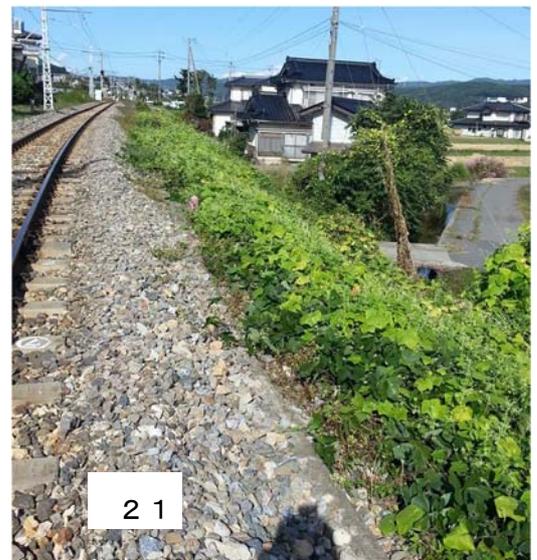
- ✓刈取り：結実前（秋ごろまでに）に植生全面刈取りを実施（数年継続、ただし年1回の刈取りでは効果なし？）
- ✓宮城県で行われた堤防法面の管理の試験では、法面上端部においては、8月下旬に刈り払いを行うことで結実密度は低減され、さらに9月上中旬に除草剤（観察データのため薬剤の詳細は不明）を散布することで結実はほとんどなくなる（大川ら 2015「宮城県の農耕地周辺の河川堤防におけるアレチウリ（*Sicyos angulatus*）の種子生産に及ぼす除草管理の影響」；日本生態学会第62回全国大会）

◎webからは他にも茎葉処理剤と機械的防除の併用等の情報が得られますが、除草剤の使用は目的植物以外の植物にも影響を与えてしまう場合があるので、除草剤の使用を考える際はその剤がどのような植物に対して影響があるのかを知り、周囲の環境（どのような植物が生えているか、田畑・河川の有無、等）を把握し、対象場所・植物以外への影響が生じないよう十分な注意が必要です。また、アレチウリは水辺に生えていることが多いので除草剤の使用は難しい場合が多いと思われま

参考 URL；

『特定外来生物の解説 アレチウリ』

<http://www.env.go.jp/nature/intro/outline/list/L-syo-08.html>



『警戒すべき帰化雑草シリーズ (アレチウリ)』

<http://narc.naro.affrc.go.jp/chousei/shiryuu/kankou/weed/sicyos.pdf>

『植調の自然植生中における外来植物の防除マニュアル』

<http://www.japr.or.jp/gijyutu/image/080728.pdf>

『河川における外来植物対策の手引き』

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/gairai/tebiki.html

アレチウリは、非農耕地から農地に侵入して大害草になる可能性があるため、主要な防除ターゲットになっているところもあります。アレチウリ防除に関する情報は Web 上に種々ありますが、参考にされる場合は内容を精査ください。(小西真衣)

●クズ：繁茂し不衛生な印象を与える。

発生場所：法面、マント・ソデ群落として

松岡憲吾さん (広島県)

●セイタカアワダチソウ：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：放棄耕作地、空き地、法面

松岡憲吾さん (広島県尾道市)

●メリケンカルカヤ：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：芝地、空き地

松岡憲吾さん (広島県尾道市)

●マルバルコウ：繁茂し不衛生な印象を与える (写真 22)

発生場所：放棄耕作地、空き地

松岡憲吾さん (広島県福山市)

●タカサゴユリ：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：高速道路法面

松岡憲吾さん (山陽自動車道など)

●ムラサキツユクサ：繁茂し不衛生な印象を与える (写真 23)

発生場所：墓地

松岡憲吾さん (広島県尾道市)

●ナギナタガヤ：繁茂し不衛生な印象を与える (写真 24)

発生場所：芝生地、空き地、果樹園、河川敷

松岡憲吾さん (広島県尾道市)

●セイバンモロコシ：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：河川敷、空き地

松岡憲吾さん (広島県尾道市)



●オオキンケイギク：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：放棄耕作地、空き地、道路法面、河川敷

松岡憲吾さん（至る所）

●国道バイパスの分離帯にオオキンケイギクの群落があります。土木事務所も抜本的な対策は取っていないようです。15年ぐらい前にワイルドフラワーを施工した名残りかと思います。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）

●シナダレスズメガヤ：繁茂し不衛生な印象を与える（写真 25）

発生場所：アスファルトの隙間、空き地、河川敷、高速道路沿い

松岡憲吾さん（広島県尾道市）

●ハルシャギク：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：空き地

松岡憲吾さん（広島県尾道市、福山市）

●マツバウンラン：繁茂し不衛生な印象を与える

発生場所：空き地

松岡憲吾さん（広島県尾道市）



●ヨシ類：車でJR踏切通過の際ヨシ類が繁茂し見通し悪く危険。（現場に行く機会無くその後写真撮ろうと思いましたが枯れた状態で見通しは良くなっていました）

古頭佐敏さん（JR 沿線、9月）

●熊本市南区荒尾 2-1-1 に熊本市の体育館施設「アクアドーム」があります。小生は、そこにウォーキングによく行くのですが、その施設の周辺道路の歩道が雑草で一杯になっています。費用をかけて作った歩道のように、幅広の歩道で、元々は添付の写真 26 のように車道との境界にさざんかの低木の木を植えて外観がよいように設計されています。しかし、実際、ここ数年は写真 27 のようにそこには雑草がおいしげり、元々の低木は淘汰されてしまっています。その雑草が（名前はわかりませんが）歩道の半分以上にはびこるようになり、人が一人通れるくらいのスペースしか残っておらず、自転車やベビーカーとのすれ違いもできない状態です。こんなことなら、すべてコンクリートで作られた歩道の方がよっぽど広くて使いやすいと今では思っています（写真 26、27）。

（写真は9月ころの撮影です。年に何回かは雑草の刈り取りはされているのでその直後1か月くらいはきれいですが、すぐに雑草ははえてきて同じ状態になってしまっています）

松田元秋さん（熊本県南区）



<直接被害>

- 河川敷で繁茂した**アレチウリ**の除去作業を行ったところ、実に生えているトゲが身体中に刺さりチクチク痛んだ。

村岡哲郎さん（茨城県牛久市）

- ワルナスビ**：トゲが刺さりそうになった。（写真 28）

発生場所：公園

松岡憲吾さん（広島県尾道市）



- カラスウリ**（雌雄異株らしく今回は雄株だけでした）：つる、葉の裏、葉柄の小さいトゲが皮膚に擦れたり、手袋に刺さったり、首筋から背中に入りこんで擦り傷ができた（経験者：友人と自身）。

発生場所：小川のふち、庭の隅・・・立ち木につるが巻き付いて4～5m伸びています。

・長年放置していた柿の木を剪定しました。枯れたカラスウリが枝枝に絡みついて首筋が痒くて苦労しました。

矢吹日出旗さん（徳島県吉野川市鴨島町、時期は10月）

- 河川敷の草むらをかき分けていた時に**ホソバイラクサ**の群落にあたってしまい、毒のあるトゲに刺された腕がチクチク痛んだ。

村岡哲郎さん（茨城県牛久市）

- 子供の頃、斜面を登ろうとして生えていた草につかまったところ、それが**ススキ**であったため、手のひらに切り傷を負ってしまいヒリヒリ痛かった。

村岡哲郎さん（茨城県牛久市）

- とある時期になると花粉症を発症。ひどいときには身体がだるくなるほどになる。

発生場所：主に鉄道沿線での仕事が多いため、鉄道沿線での被害が多いが空き地や道路でも被害を被ることがある。

原因の雑草：**ネズミムギ？イヌムギ？**

発生地域・時期：主に東海3県で活動しているが、北のほうに行くと少ない気がする（岐阜・長野方面）。時期はゴールデンウィーク明けから梅雨に入るまでの間（5月中旬～6月中旬）梅雨に入るとぴたっと止まる。

池村淳さん（愛知県名古屋市）

- クズ**繁茂地の草刈後、クズにつき行き場を失った**マルカメムシ**が沿線の民家の洗濯物等に付き苦情の原因に（鉄道会社社員からの伝聞）。

発生場所：鉄道のり面

池村淳さん（愛知県名古屋市内・6月～9月）

- クズ**：マルカメムシの発生（悪臭）

発生場所：法面、マント・ソデ群落として

松岡憲吾さん（広島県）

- 写真の田んぼに生えた雑草（手前がセイタカアワダチソウ・向こう側がガマ）のうち、**ガマ**の穂が風で飛び、集まった個所で出火騒ぎになって消防車が出動したと言います。（写真 29、30）

発生場所：休耕田、沼地のような土壌

情報源：自分が借地している借主の同僚農家

・写真を見ても分かりづらいかもしれませんが、3～4反ある休耕田の半分ぐらいがセイタカアワダチソウとガマで生え分けられています。

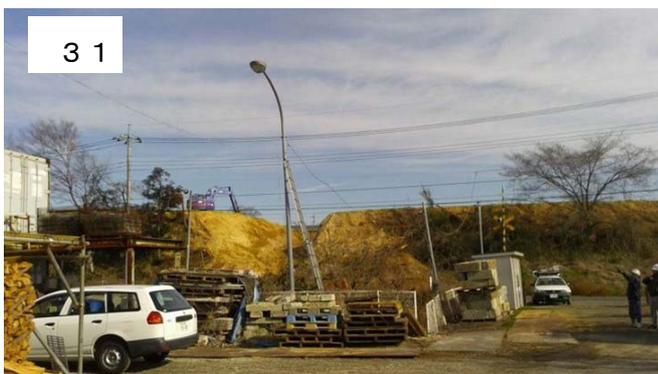
小林伸一さん（和歌山県和歌山市梅原）



<その他>

- 最近、太陽光パネルが近所に増えてきたのですが、私の敷地の向かいにも作られるようです。以前は雑林や雑草で覆われていた斜面がきり崩され、整地され、すっきりと眺めは良くなったのですが。この土質は柔らかいらしく、裸になった斜面を見ると崩れそうで少し不安になります。しかもこの整地された奥には豚小屋があり、以前は雑林などがあったため匂いは薄かったものの、今は匂いも届きやすくなっているような。私は、とにかく雑草が早く生えてきてほしいと思っております。太陽光パネルの設置についても、その場に生えてくるであろう雑草への対策はどうしているのか、興味があります。（写真 31、32）

根崎友里さん（茨城県小美玉市）



- 私の住んでいる所は渥美半島の付け根にあたる三河湾に近い所です。近くに三河港という国内でNo.1の自動車輸入港があり、又、日本有数の農業地帯でもあります。そのせいか外来雑草の宝庫（?!）でもあります。今回報告した外来雑草の殆どは私のウォーキングのコースで見かけるものです。

園部綱雄さん（愛知県豊橋市）